

タクシー事業者への 乗合事業参入に係るアンケート調査

集計結果

平成28年11月

目次

I. 調査の実施概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の設計	1
3. 調査項目	1
4. 調査票の配布・回収の状況	1
5. 本報告書の数値の取り扱い等について	1
II. 調査結果	2
1. 事業者の概要	2
(1) 従業員数及び車両数	2
(2) 営業エリア	3
(3) 事業内容	3
2. 業況について	4
(1) タクシー事業の業況・見通し	4
3. 移動支援に対する考えについて	5
(1) 高齢の利用者の動向	5
(2) 地域の移動支援のあり方	5
4. 乗合事業について	6
(1) 「乗合タクシー」「運行委託」の取組経験	6
(2) 関心度	7
③ 「乗合タクシー」の検討経験	7
④ 「乗合タクシー」への参入意向	8
⑤ 「乗合タクシー」参入の課題	8
5. タクシー業務の課題について	9

I. 調査の実施概要

1. 調査の目的

福山市及び笠岡市を営業エリアとするタクシー事業者に、乗合事業の取り組み状況や、今後の参入意向などを把握することを目的に、アンケート調査を実施した。

2. 調査の設計

- 調査対象 福山市，笠岡市内に営業所を持つタクシー事業者
- 調査方法 福山市：郵送配布・郵送回収
笠岡市：市より直接配布・郵送回収
- 調査時期 平成28年9月1日（木）～平成28年9月16日（金）

3. 調査項目

- 質問1：事業者の概要
- 質問2：業況について
- 質問3：移動支援に対する考えについて
- 質問4：乗合事業について
- 質問5：タクシー業務の課題について

4. 調査票の配布・回収の状況

- 配布件数 31件（福山市：26件，笠岡市：5件）
- 有効回収件数 23件
（福山市：15件，笠岡市：4件，グループとして回答1件(4事業者分)）
※返送事業者は23事業者，回収率は74%（23事業者／31事業者）
※設問のうち，従業者数，車両台数は23事業者の回答がある。
その他は，19事業者・1グループの20件を母数とする。

5. 本報告書の数値の取り扱い等について

- 図中の「N」は集計対象者数を示し，各選択肢の回答比率は「N」を集計母数として算出した。
- 比率はすべて，各設問の不明・無回答を含む集計対象者数（副問では当該設問回答対象者数）に対する百分率（%）を表している。1人の対象者に2つ以上の回答を求める設問（複数回答設問）では，百分率（%）の合計は，100.0%を超える場合がある。
- 百分率（%）は小数第2位を四捨五入し，小数第1位までを表示した。1つだけ回答を求める設問（単数回答設問）では，四捨五入の関係上各選択肢の百分率（%）の合計が100.0%にならない場合がある。
- 本文や図表中の選択肢表記は，語句を簡略化している場合がある。

Ⅱ. 調査結果

1. 事業者の概要

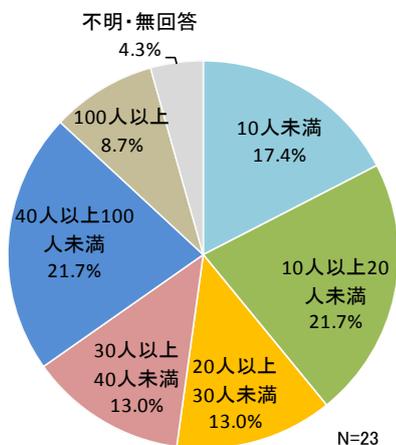
(1) 従業員数及び車両数

質問 1 ②福山市・笠岡市内で従事される従業員数及び運転者数を教えてください。
 質問 1 ③福山市・笠岡市内の本社・営業所などで保有されている営業用車両の台数を教えてください。

○多様な従業員数・乗務員数の規模の事業者から回答を頂いている。

○車両では、セダン・バン、ジャンボタクシーは比較的多くの事業者が保有しているが、マイクロバス、中型・大型バス、福祉タクシーは保有していない事業者の方が多い。

■従業員数



■運転手の人数

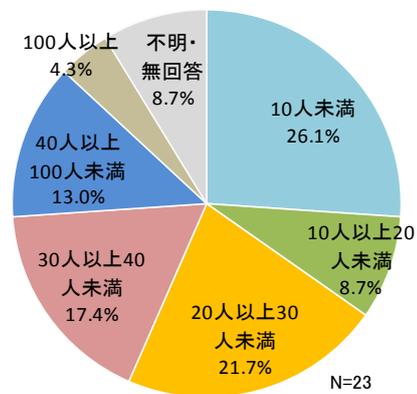
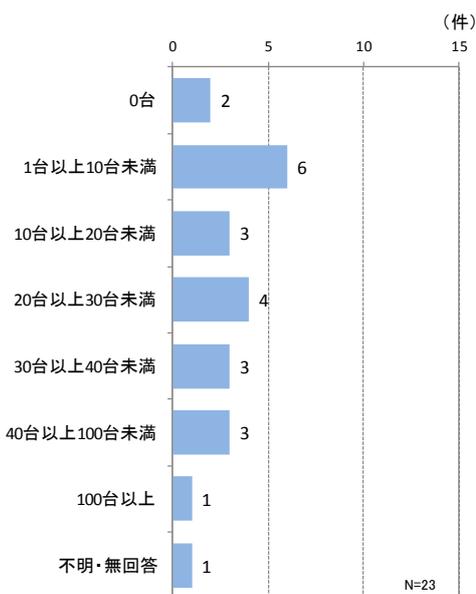
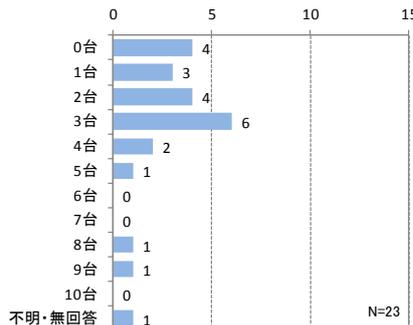


図 従業員数

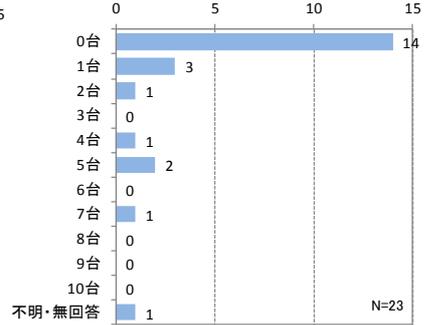
■セダン・バン



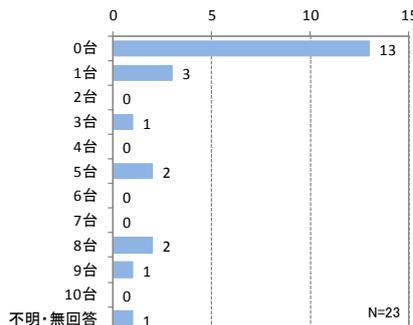
■ジャンボタクシー



■マイクロバス



■中型・大型バス



■福祉タクシー

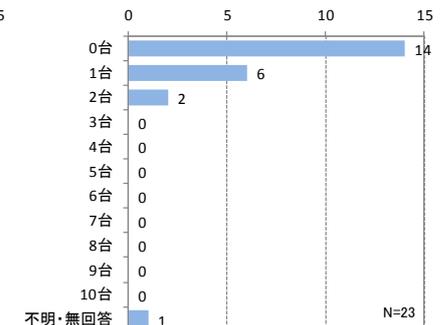


図 車両台数

(2) 営業エリア

質問1 ④主に運行しているエリアを教えてください。(あてはまるもの全てに○)

○福山市, 笠岡市を営業エリアとする事業者が多い。

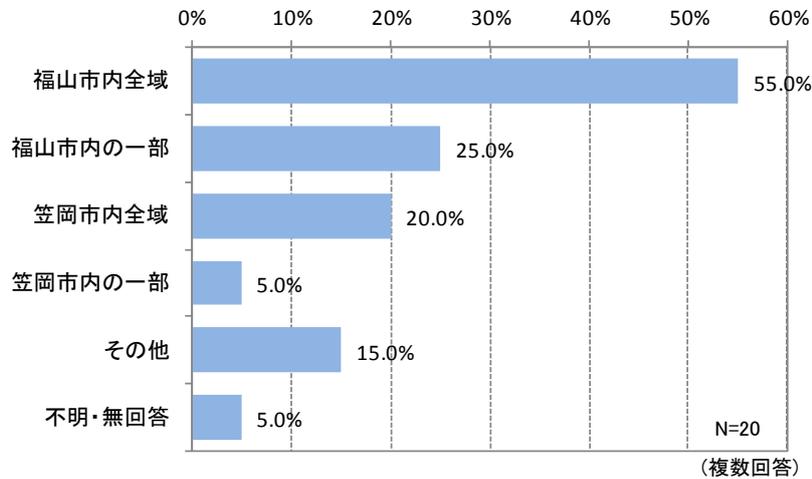


図 営業エリア

(3) 事業内容

質問1 ⑤貴社において、タクシー事業の他にしている事業を教えてください。(あてはまるもの全てに○)

○タクシー事業以外では、貸切バス事業が36.8%と最も多いが、乗合タクシー、送迎事業などを行う事業者もみられる。

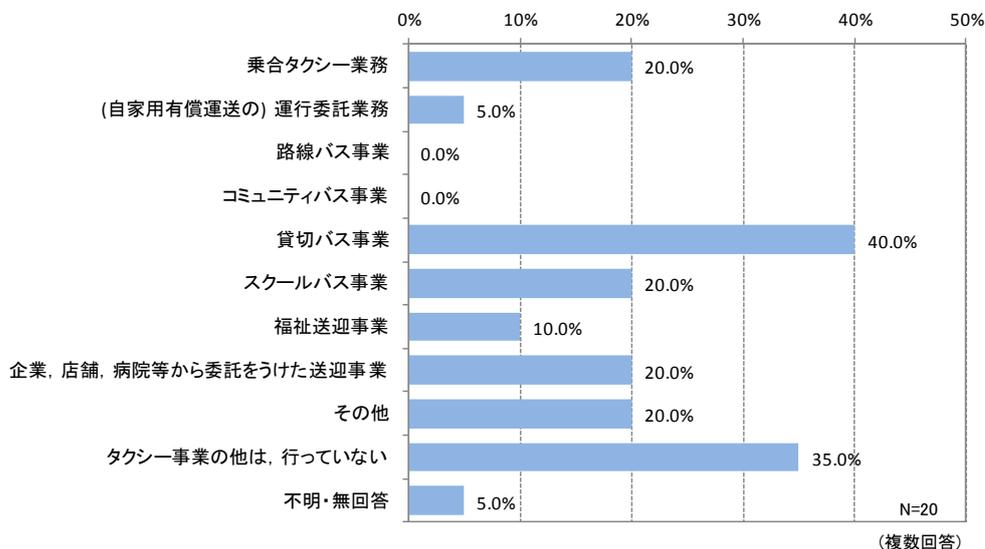


図 事業内容

※乗合タクシー実施箇所・・・福山市, 府中市, 井原市, 神石高原町

2. 業況について

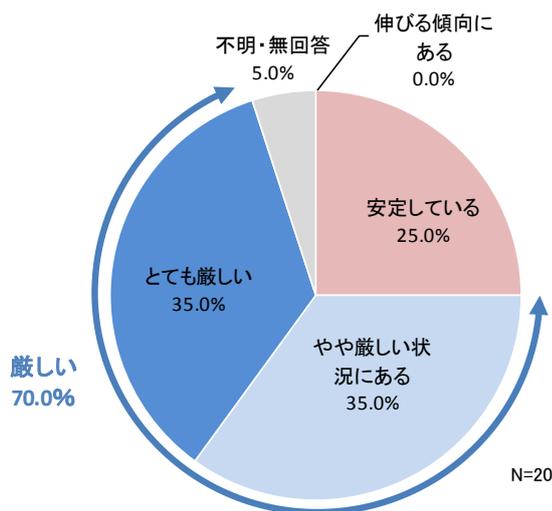
(1) タクシー事業の業況・見通し

質問2 ①タクシー事業の近年の業況はいかがでしょう。

質問2 ②今後のタクシー事業の見通しについて、どのようにお考えでしょう。

○現在の業況を厳しいとする事業者が70.0%，また今後の見通しを厳しいとする事業者は80.0%である。

[業況]



[見通し]

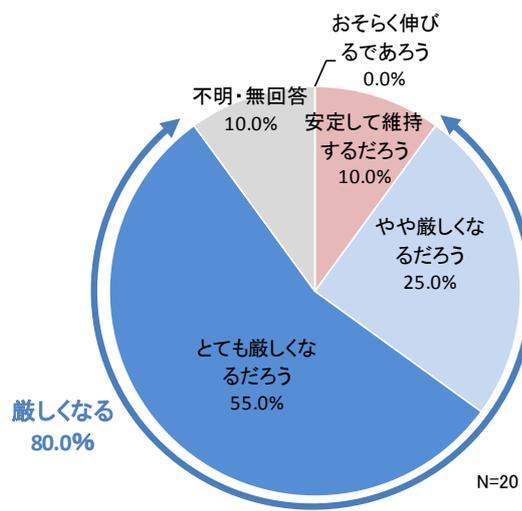


図 タクシー事業の業況と見通し

<見通しとして「厳しくなるだろう」と回答した事業者のみ>

タクシー事業を継続するために課題となっている(なると予想される)ことは何でしょうか。

○回答があった17件のうち、15件が乗務員不足や高齢化の問題を指摘している。その他では、他の業態との競合や、人口減少などの環境変化などの問題があがっている。

<主な意見>

○乗務員不足に係る内容

- ・乗務員の確保。ドライバーの高齢化。
- ・若い人の入社がない。給与が他産業に比べ低い為に労働時間が長い。

○他業態との競合に係る内容

- ・介護タクシーの参入。
- ・白タク問題(ライドシェア)。Uber (ウーバー) の参入。

※Uberとは、スマートフォンで配車を行う仕組み。近くにいるUberの契約ドライバーを呼び出せる。

○業務環境に係る内容

- ・人口の減少。固定客の維持。免許(普通)保持率の増加。
- ・燃料の高騰。

○その他

- ・車両設備、管理費が高い。保険問題(タクシーは1年車検で自賠責保険が高い)。
- ・自動運転技術が進む為、タクシーが不要になる。

など

3. 移動支援に対する考えについて

(1) 高齢の利用者の動向

質問3 ①「日常的な買物」や「通院」などのために、ご自宅から定期的にタクシーを利用するご高齢のお客様は増えていますか。

○高齢者の利用について、ここ数年変わっていないとする事業者が約半数いる一方で、増える傾向、減る傾向も、それぞれ25.0%、20.0%と一定数ある。

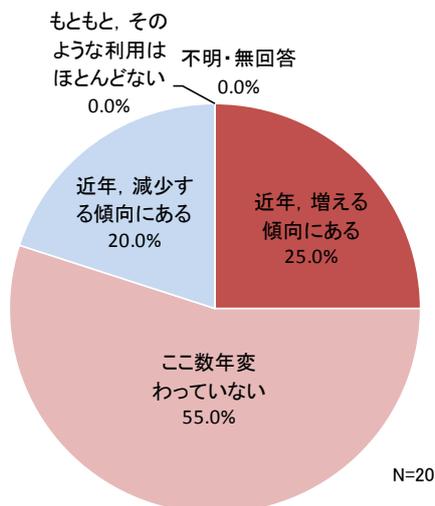


図 タクシー事業の見通し

(2) 地域の移動支援のあり方

質問3 ②地域の移動支援のあり方について、ご意見があれば、ご自由にお書きください。

○地域の移動支援に向けた、タクシー事業者の関わり方などのアイデア、意見などがあがっている。

<主な意見>

- ・地方における、バス路線の縮小などにより、多くの高齢者が買物難民となっている。これに対し、移動手段としてのタクシーの在り方が偏っており、もう少し、タクシー事業者を含めての検討を行う様な地方の市、町、村であるべき。
- ・タクシー等、旅客事業者が自由に商品などの配達ができるような法律にする（貨物事業者しかできない）。タクシー閑散時間帯（14：00～15：00）の有効活用を推進させる。
- ・ドアツードアでご高齢のお客様の負担を少しでも軽減し、外出しやすい様にしていきたい。
- ・お客様を送迎するだけではなく、定期的にご自宅に訪問したり、買物代行をしたり新たなサービスを提供していきたい。
- ・タクシーチケットの配布、補助金
- ・自治体だけで対応するのは困難だと思うので、会社としても協力できるところは協力したい。

など

4. 乗合事業について

【乗合タクシー・運行委託業務の定義】

乗合 タクシー	タクシー事業者が、タクシーの許可に加えて乗合の許可（道路運送法第4条許可）を取得し、乗車定員11人未満のタクシー車両（ジャンボ型及びセダン型）を使い、時刻表に従って旅客の乗り合わせによる運行を行うこと。これには、いわゆる「デマンド交通」が含まれる。
運行委託	主に、市町自らが自家用有償旅客運送の登録（道路運送法第78条）や運営を行う場合に、タクシー事業者が運転等の業務の委託を受けること。

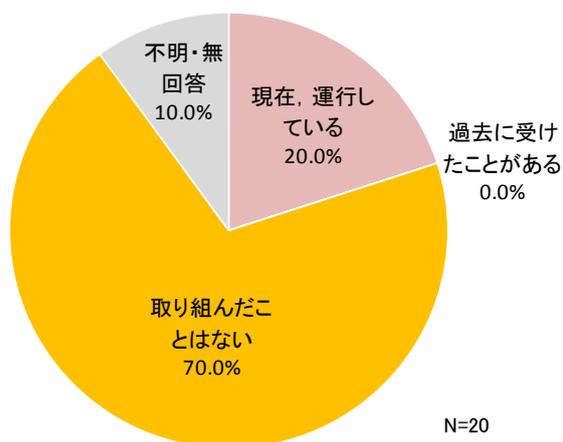
（1）「乗合タクシー」「運行委託」の取組経験

質問4-A ①貴社では、「乗合タクシー」業務（貴社が乗合バスの許可を取得して運行）を受けたことはございますか。（1つに○）

質問4-B ①貴社では、「運行委託」業務（市町の自家用有償運送の運転業務の委託）を受けたことはございますか。（1つに○）

○乗合タクシー業務に取り組んだことがある事業者は20.0%，運行委託では10.0%であり、前者の方が多い。

【乗合タクシー】



【運行委託】

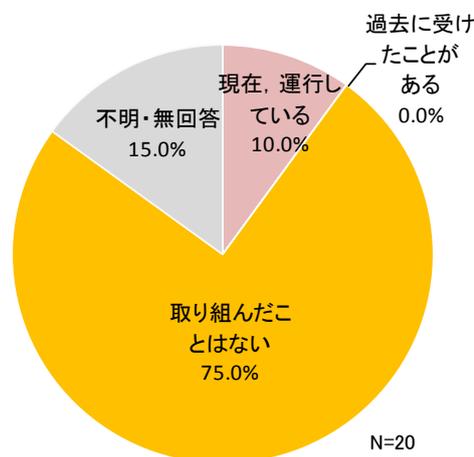


図 「乗合タクシー」「運行委託」業務の実施経験

※以下、「取り組んだことがない」と回答した事業者のみ

(2) 関心度

質問 4-A ②「乗合タクシー」業務に関心をお持ちでしょうか。(1つに○)
 質問 4-B ②「運行委託」業務に関心をお持ちでしょうか。(1つに○)

○関心度合いについて、乗合タクシー、運行委託ともに約6割の事業者が関心を持っている。
 また、「とても関心がある」の回答は、乗合タクシーの方が多い。

[乗合タクシー]

[運行委託]

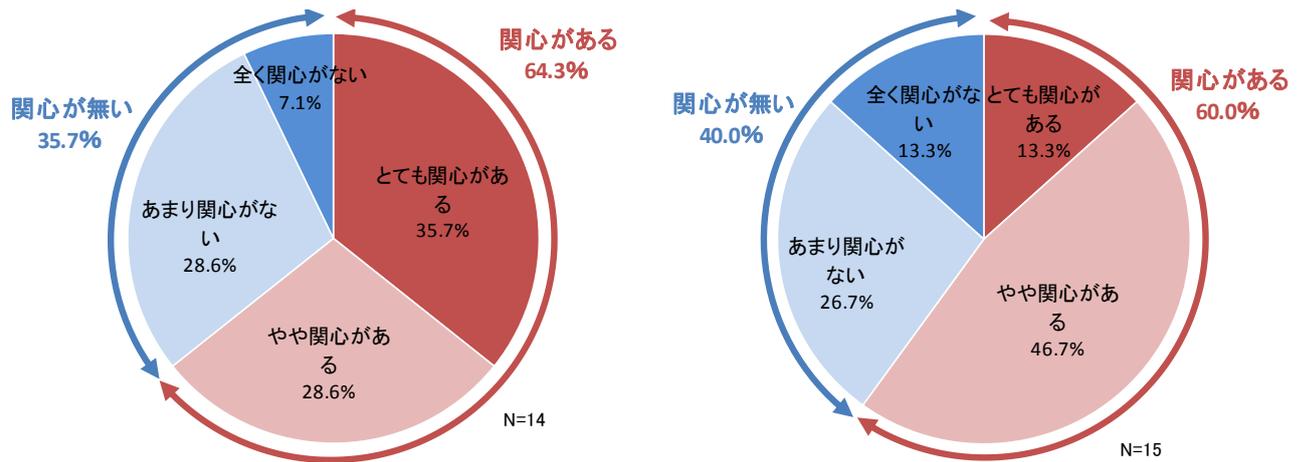


図 関心度

③「乗合タクシー」等の検討経験

質問 4-A ③これまでに、「乗合タクシー」業務について検討・調べたことはありますか。(1つに○)
 質問 4-B ③これまでに、「運行委託」業務について検討・調べたことはありますか。(1つに○)

○乗合タクシーでは、何らかの調査や検討などをした事業者が約4割程度ある。

[乗合タクシー]

[運行委託]

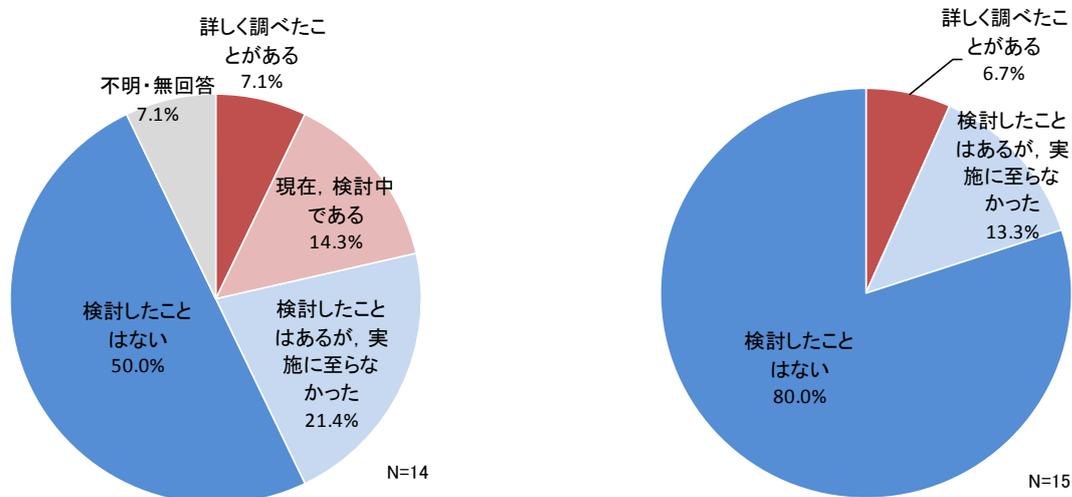


図 検討経験

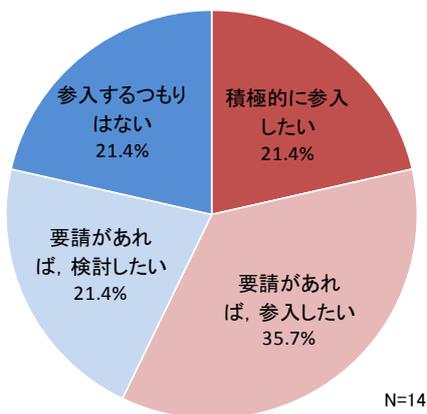
④「乗合タクシー」等への参入意向

質問 4-A ④貴社では、「乗合タクシー」業務に参入したいと思いますか。(1つに○)

質問 4-B ④貴社では、「運行委託」業務に参入したいと思いますか。(1つに○)

○乗合タクシー，運行委託ともに，事業への参入の意向は高いといえる。

[乗合タクシー]



[運行委託]

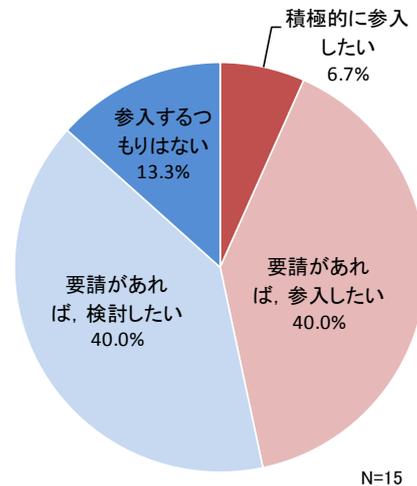


図 参入意向

⑤「乗合タクシー」等への参入の課題

質問 4-A ⑤貴社が「乗合タクシー」業務への参入をご検討される場合に，特に問題・課題になると思われることは何でしょうか。(あてはまるもの全てに○)

質問 4-B ⑤貴社が「運行委託」業務への参入をご検討される場合に，特に問題・課題になると思われることは何でしょうか。(あてはまるもの全てに○)

○参入に向けた課題では，「運転手の確保が厳しい」が最も多い。また，乗合タクシーでは，「相談先が分からない」とする回答も比較的多い。

[乗合タクシー]

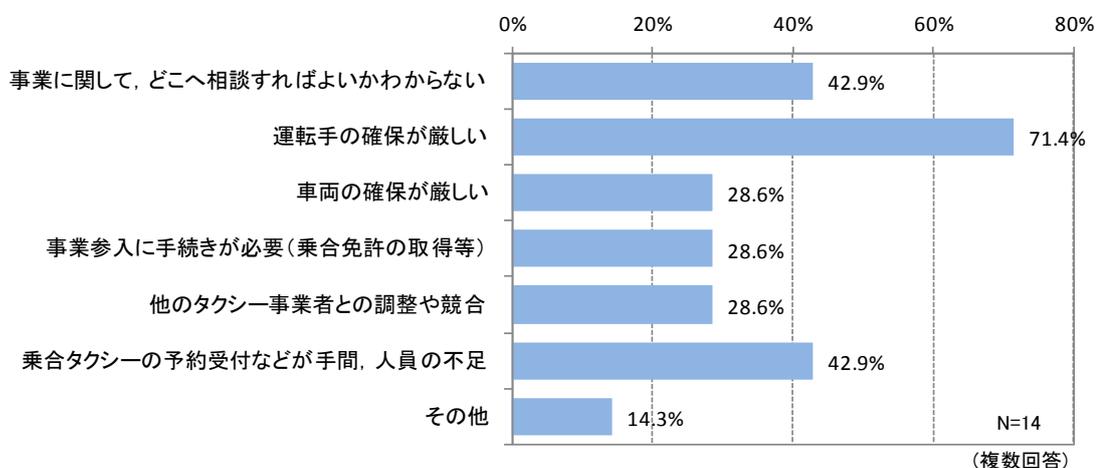


図 「乗合タクシー」業務参入の課題

[運行委託]

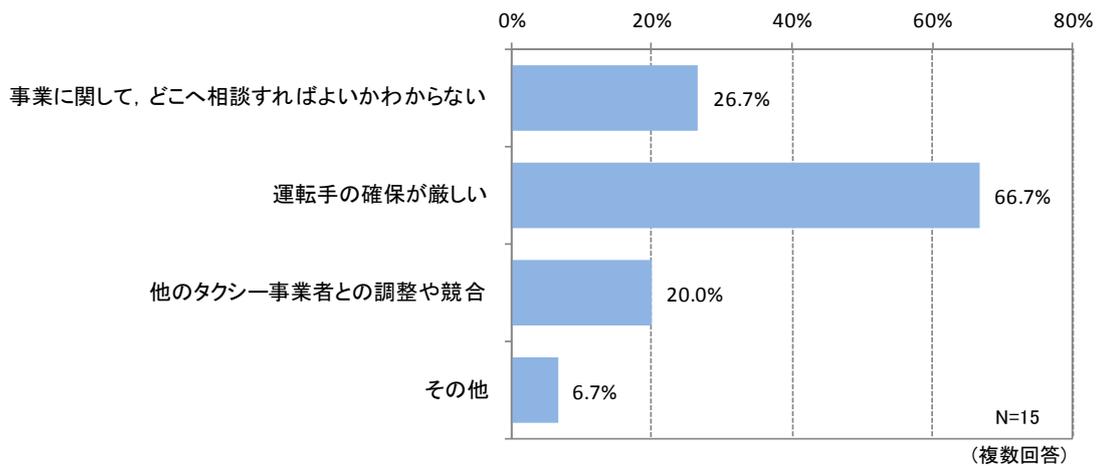


図 「運行委託」業務参入の課題

5. タクシー業務の課題について

最後に、タクシー事業に関して感じられている今後の課題などについて、ご意見を自由にお書きください。

<主な意見>

- ・乗務員不足が大きな課題。特に良い乗務員の確保。UBERが本格参入をした場合、タクシー業界が対抗できる最大の武器が「良い乗務員」。そのためにも待遇改善など、いろんなアイデアを使い、人材確保に努めたい。
- ・タクシー事業者による運賃競争が今後考えられる。適正運賃と、同一地域、同一賃金を希望する。
- ・高齢化がますます進むなかで、行政と一緒に考え、同業者との情報を共有し、利用者が気持ち良く利用できるタクシー事業が必要になると考える。

など